更新日： 2025/3/21 新規

大会月	団体名	大会名（ニュース等）	開催場所	種目名	成績・表彰	大会の概略やPR
R7.3月	SATSUMAロケット研究会	第21回種子島ロケットコンテスト	JAXA種子島宇宙センター　竹崎グラウンド （鹿児島県熊毛郡南種子町） 南種子町農業者トレーニングセンター（鹿児島県熊毛郡南種子町） 南種子町福祉センター大ホール（鹿児島県熊毛郡南種子町）	ロケット部門　高度部門	プロダクト賞　工学部3年 岡本一志　工学部1年 今井昴　工学部1年 川崎一葉	種子島で行われる全国の大学、高専、高校、一般（社会人）が技術力を競う全国大会。名門ぞろいの中で、プロダクト賞を三菱重工業（株）様よりいただきました！
R6.11月	法学研究会	第73回末川杯争奪法律討論会	立命館大学（京都府京都市）	立論の部	第2位　法文学部2年　小浦萌華	慶應義塾大学、明治大学など法学部名門私立大学ぞろいの中、中央大学に次ぐ第2位入賞。
R6.11月	弓道部	第62回伊勢神宮奉納大会全日本学生弓道王座決定戦第72回男子の部	伊勢神宮弓道場	団体戦	優勝 最優秀選手賞　高尾真叶 優秀選手賞　山野弘孝･松永明輝 皆中賞　高橋怜央･山野弘孝･高尾真叶	大学弓道において最高峰の大会。約350校が予選に参加し、各地区代表10校が頂点を目指し争う
R6.11月	弓道部	第62回伊勢奉納大会東西学生弓道選抜対抗試合第70回男子の部	伊勢神宮弓道場		優勝（九州地区代表：山野弘孝･高尾真叶） 最優秀選手賞　高尾真叶 皆中賞　高尾真叶	各地区の的中上位者が集い、東軍と西軍に別れて戦う
R6.4月	弓道部	第68回西日本学生弓道選手権大会	岡山ジップアリーナ	団体	優勝	中四国･九州の大学が集まる大会
R6.10月	弓道部	第62回九州学生弓道選手権大会	アクシオン福岡（福岡県福岡市）	団体･個人	男子団体優勝（2024年王座決定戦出場） 男子個人準優勝 男子東西対抗戦九州地区代表２名	全国大会となる王座決定戦や東西対抗戦、選抜大会の出場権を賭けて挑む大会。
R6.9月	自動車部	FormulaGymkhana2024 全国決勝大会	奥伊吹モーターパーク(滋賀県米原市)	ジムカーナ	６位(全10大学)	
R6.8月	バドミントン部	第64回西日本学生バドミントン選手権大会	ジップアリーナ岡山	個人戦男子シングルス	個人ベスト32 工学部1年永田怜音 （第75回全日本学生バドミントン選手権大会出場決定）	
R6.9月	馬術部	令和6年度 県民スポーツ大会 馬術競技	霧島高原乗馬クラブ	ジムカーナ競技	第1位 共同獣医学部1年 中野沙瑛子	鹿児島県内屈指の選手が集まる県民大会。初出場の大会だったが見事1位を獲得。相棒はアパルーサ種牝馬のアクアマリン。
				低障害飛越競技	第1位 法文学部2年 白川桜子	鹿児島県内屈指の選手が集まる県民大会。初出場の低障害飛越競技にて見事1位を獲得。相棒は今季からペアを組んだサラブレッド種セン馬のメイショウヤエヤマ。
R6.8月	馬術部	2024夏季九州学生馬術大会	綾馬事公苑	九州学生賞典馬場馬術競技	第2位 農学部4年 高柳りさ	全国大会への出場権利をかけた年に一度の九州地区大会。長年ペアを組んできたデルチェッカーと初めて権利を獲得。11/3にJRA馬事公苑にて行われる全日本学生馬術大会2024の賞典馬場馬術競技大会（個人決勝)に出場予定。
				2024年度 女子選手権大会	第1位 農学部4年 高柳りさ 第2位 共同獣医学部4年 榎本保乃加	全国大会への出場をかけた年に一度の九州地区大会。どの馬に乗るか競技開始まで分からず、短時間で貸与馬と馬場馬術を披露する競技。1位2位を鹿児島大学が飾る輝かしい結果となった。12/7~12/8に三木ホースランドパークにて行われる第60回全日本学生馬術女子選手権大会に出場予定。
				M-D障害馬術競技	第3位 共同獣医学部4年 榎本保乃加	九州の大学馬術部が集まる九州地区大会。長年ペアを組んできたマイネルオルデンとM-D障害馬術競技にて第3位に入賞。
				2024年度 選手権大会	ブロックⅡ 第1位 水産学部3年 島崎暁	全国大会への出場をかけた年に一度の九州地区大会。どの馬に乗るのか競技直前に告知され、短時間で貸与馬と馬場馬術を行う競技。昨年今年と2年連続で全国大会への権利を獲得した。12/7~12/8に三木ホースランドパークにて行われる第97回全日本学生馬術選手権大会に出場予定。
R6.8月	自動車部	FormulaGymkhana2024 予選 Rd.3	TSタカタサーキット(広島県安芸高田市)	ジムカーナ	３位入賞(全国決勝大会の出場権獲得)	Formula Gymkhanaは、車両・装備を各メーカー様より一律に提供していただくことで、出場校による負担のない形でのワンメイク競技を実現し、ドライビングスキルとチームワークにフォーカスしたサステイナブルな大学自動車部の大会を提案し、また、自動車業界にいらっしゃるクルマ好きの方々が実際に事業内容を語る機会等も提供して、自動車を愛する学生と、そのような学生を求める企業様とのマッチングの場を提供します。全国３カ所で予選大会を行い、勝ち上がった合計10校により決勝大会を開催。日本一の自動車部を決定します。 鹿大自動車部は全部員がジムカーナ未経験で、さらに、部として大会に出場するのも数年振りという状況の中で、試行錯誤しながら準備を進め、大会に臨みました。
R6.7月	陸上競技部	第77回西日本学生陸上競技対校選手権大会	博多の森陸上競技場（福岡県福岡市）	男子10000m 男子3000mSC	男子10000m　３位表彰　法文学部4年　別府明稔 男子3000mSC　６位入賞　医学部3年　藤本悠太郎	西日本におけるトップを決める大会
R6.6月	少林寺拳法部	2024年 少林寺拳法鹿児島県大会	いちき串木野市総合体育館	単独演武大学生女子級拳士の部 組演武一般級拳士の部 組演武一般女子級拳士の部	単独演武大学生女子級拳士の部　1位　医学部2年　小鹿野寧々 組演武一般男子級拳士の部　1位　法文学部2年　久留章靖・水産学部2年　水上詩月 組演武一般女子級拳士の部　2位　農学部2年　城田優香・医学部2年　田中瑠衣	鹿児島県内の一番上は60代のシニアの方から下は小学生の子までの幅広い年代の選手が日頃の成果を出すべく切磋琢磨する大会です。
R6.6月	法学研究会	第45回九州瀬戸内学生法律討論会	香川大学　幸町キャンパス（香川県高松市）	立論の部	立論の部　第３位　法文学部３年　松尾尚杜	強豪校の九州大学に２点差で勝利し、見事全国大会への出場権を手にしました。
R6.6月	陸上競技部	秩父宮賜杯第56回全日本大学駅伝対校選手権大会九州地区選考会	福岡大学陸上競技場	男子10000m (各校上位8名の記録の合計値を競う)	優勝(鹿児島大学が11/3に行われる全日本大学駅伝への出場資格を獲得)	昨年につづいて全国大会への出場というプレッシャーに見事打ち勝った大会。

大会月	団体名	大会名（ニュース等）	開催場所	種目名	成績・表彰	大会の概略やPR
R6.2月	カバディ同好会	第32回全国学生カバディ選手権大会	自由の森学園(埼玉県飯能市)	カバディ	第3位	
R5.12月	少林寺拳法部	第54回少林寺拳法全九州学生大会	FITアリーナ（福岡工業大学）	男子有段単独演武の部　男女白緑帯組演武の部　男子白緑帯単独演武の部　男子白緑帯組演武の部	男子有段単独演武の部　１位　農学部３年　末松竜馬 男子有段単独演武の部　２位　医学部２年　松元勇磨 男女白緑帯組演武の部　１位　水産学部１年　水上詩月 法文学部１年　久留章靖 男子白緑帯単独演武の部　３位　医学部３年　園田嵐生 男子白緑帯組演武の部　２位　医学部３年　園田嵐生 工学部１年　若松聖悟	九州の大学拳士が九州一をかけて集まる全九州大会で、鹿児島大学が各部門で九州１位や上位入賞をおさめました。
R5.11月	男子ハンドボール部	高松宮記念杯男子66回女子59回全日本学生選手権大会	函館アリーナ（北海道　函館市）	ハンドボール	大会出場	40年ぶりの出場 国立大学の参加は鹿児島大学、愛知教育大学、筑波大学、開催地代表の北海道大学のみです。愛知教育大学と筑波大学はスポーツ推薦という制度があり選手を集めることができるため、スポーツ推薦のない鹿児島大学で選手が集まって全国大会に出場することは異例かと思います。 今年パリ五輪出場を決めた男子ハンドボール日本代表チームに所属する選手が出場するなどハイレベルであり、学生日本一を決めるこれ以上ない大会です。
R5.11月	弓道部	第71回全日本学生弓道王座決定戦ベスト4	伊勢神宮弓道場(三重県伊勢市)	団体戦　弓道　近的	(団体ベスト4) 法文学部 波多野晴太(3年)、松永明輝(1年)、井上侑和(1年) 農学部　馬場晴夢(2年) 理学部　安木千央(4年)、日高颯斗(3年) 水産学部　高橋怜央(3年) 教育学部　高尾真叶(2年) 工学部 山野弘孝(3年)、細田凌央(3年)、内山優士(2年) 宮原栄翼(2年)、井上創太(1年)	全日本学生弓道王座決定戦は全国の各地区から選ばれた10校のみしか出場できず、伊勢神宮弓道場で真の日本一を決める大会です。 昨年優勝校の法政大学と準決勝で対戦し、2本差まで追い詰めましたが惜しくも敗れました。 全国大会のベスト4は鹿児島大学弓道部の中だけでなく、九州の大学内でも滅多にない快挙です。
R5.11月	少林寺拳法部	第57回少林寺拳法全日本学生大会	日本武道館(東京都千代田区)	単独有段の部	全日本優勝　農学部3年　末松竜馬	全国の大学少林寺拳法部の中で日本1位を決める大会。少林寺拳法に取り組んでいる大学生の中で一番花形の大会です。演武(型)の部で男女混、100人がエントリーする激戦区の部門です。明治大学、日本体育大学、慶應大学等の強豪校に地方の大学として、鹿児島大学初の優勝を飾りました。中学校3年ぶりの全国1位の奪還となりました。
R5.10月	フットサルクラブZee	KFA　第29回全日本フットサル選手権大会　県予選	吹上浜公園体育館（鹿児島県日置市）、霧島市横川体育館（鹿児島県霧島市）	フットサル	県大会　優勝	全日本フットサル選手権は、アマチュアからプロの全チームの中で頂点を決める大会です。
R5.10月	将棋部	2023年度秋季九州学生将棋大会	福岡大学，城南市民センター(福岡県福岡市)	団体戦	団体　3位	春季大会に引き続き、好成績を残すことができました。
				個人戦	個人3位　教育学部2年高木滉伸	
R5.10月	弓道部	第61回九州学生弓道選手権大会	福岡市総合体育館(福岡県福岡市)	女子団体戦　弓道　近的	団体戦準優勝　農学部 元吉幸海(3年)、佐藤千晴(2年)、國生晴菜(2年)渡邊美羽(1年) 法文学部　下園桃子(2年) 理学部　江藤佳乃子(1年) 医学部　瀧川明日香(1年)	女子は昨年まで決勝リーグに上がれない年が続き、悔しい思いをしていましたが、今年度は決勝リーグ進出から団体戦準優勝を果たしました。
				女子個人戦　弓道　近的	個人6位、7位入賞 6位→法文学部　下園桃子(2年) 7位→理学部　江藤佳乃子(1年) 第47回女子東西学生弓道選抜対抗試合出場権獲得(個人戦) 法文学部 下園桃子(2年)	
R5.10月	弓道部	第61回九州学生弓道選手権大会	福岡市総合体育館(福岡県福岡市)	男子団体戦　個人戦　弓道　近的	団体戦優勝　法文学部　波多野晴太(3年)、松永明輝(1年)、井上侑和(1年) 工学部 山野弘孝(3年)、細田凌央(3年)、内山優士(2年)、宮原栄翼(2年) 教育学部　高尾真叶(2年) 農学部　馬場晴夢(2年) 水産学部　高橋怜央(2年) 理学部　安木千央(4年)、日高颯斗(3年)	全日本学生弓道王座決定戦出場をかけた、秋の九州大会です。九州の全ての大学が集まり、3日間に渡って、その年の九州1位を競い合います。 本学の優勝は7年ぶりであり、ここまで2年連続で準優勝するなどの悔しい思いを晴らすことができた大会です。
R5.7月	弓道部	第67回西日本学生弓道選手権大会	北九州メディアドーム(福岡県北九州市)	団体戦　弓道　近的	団体戦優勝 法文学部　波多野晴太(3年) 教育学部　高尾真叶(2年) 水産学部　高橋怜央(2年) 農学部　　馬場晴夢(2年)、石次竜馬(2年) 工学部　　山野弘孝(3年)、細田凌央(3年) 内山優士(2年)、川原良太(2年)、宮原栄翼(2年)	九州から中四国までの全大学が参戦する大会です。鹿児島大学は予選を4位で通過した後、8校で行われるリーグでは、全勝し9年ぶりの優勝を果たしました。
R5.6月	法学研究会	第44回九州瀬戸内学生法律討論会	九州大学伊都キャンパス（福岡県福岡市）	質問の部	質問の部　第３位　法文学部2年(当時)　松元颯汰	1957年から毎年開催され、朝日新聞社・有斐閣・検察庁・裁判所・弁護士会が後援する伝統ある大会です。 法律実務家・専門家５名が審査員となり、各大学の行う立論・質問を採点していただきます。
R5.5月	陸上競技部	秩父宮賜杯第55回全日本大学駅伝対校選手権大会九州地区選考会	福岡大学陸上競技場(福岡県)	10000m	4°15'41"04 優勝(全日本大学駅伝出場権獲得)	全日本大学駅伝九州地区選考会で1985年以来38年振りの優勝。

大会月	団体名	大会名（ニュース等）	開催場所	種目名	成績・表彰	大会の概略やPR
R5.5月	フットサルクラブZee	KFA 第19回　全日本大学フットサル大会　県予選	蒲生体育館	フットサル	優勝	全国の大学フットサルのトップを決める大会で、その九州大会への切符となる重要な大会です。
R5.5月	将棋部	2023年度春季九州学生将棋大会	福岡大学(福岡県福岡市)	団体戦	団体　準優勝	準優勝の結果を受けて、数年ぶりに西日本大会に出場することができました。
R5.2月	弓道部	第63回南九州学生弓道選手権大会	西原商会アリーナ(鹿児島県鹿児島市)	男子団体戦　弓道　近的	団体戦準優勝(学年は当時の学年です。) 法文学部　波多野晴太(2年) 水産学部　高橋怜央(2年) 教育学部　高尾真叶(1年) 工学部　　内山優士(1年) 農学部　　海藏陽向(2年) 医学部　　西郷優人(1年)	南九州(大分、熊本、宮崎、鹿児島)の大学が集い、決勝リーグにて優勝を決めます。鹿児島大学は連覇がかかった大会でありましたが、惜しくも準優勝となりました。しかし、南九州においても強豪校として恥ずかしくない戦いができたと思います。
R4.12月	法学研究会	第72回全日本学生法律討論会	九州大学伊都キャンパス（福岡県福岡市）	立論の部	立論の部　第７位　法文学部2年（当時）　長池涼芽	3年生の出場者ばかりの中、2年生のみで全国大会を戦い抜きました
R4.12月	弓道部	第58回九州学生弓道新人戦指宿大会	指宿市総合体育館(鹿児島県指宿市)	弓道　団体戦　近的	男子団体戦3位 法文学部　波多野晴太(2年) 工学部　山野弘孝(2年)、内山優士(1年)、 宮原栄翼(1年)、川原良太(1年) 理学部　日高颯斗(2年) 農学部　馬場晴夢(1年) 教育学部　高尾真叶(1年) 水産学部　高橋怜央(2年)	九州規模の大会であり、各大学1、2年生のみでチームを構成する新人戦です。 惜しくも連覇は逃しましたが、新チームが発足した最初の大会での入賞となりました。
R4.11月	弓道部	第68回東西学生弓道選抜対抗試合	伊勢神宮弓道場(三重県伊勢市)	個人戦　弓道　近的	学年は当時のものです。 出場　水産学部　高橋怜央(2年) 出場・優秀射士　工学部 森本和樹(4年)	西日本と東日本に分かれ、各地区の的中上位者のみが出場することができる、学生弓道の個人における憧れの場です。 本学からは2名出場し、そのうち1名が優秀射士にも選出されました。 出場するだけでも快挙の大会に2人選出され、かつ、優秀射士の獲得は素晴らしい結果だと思っています。
R4.10月	弓道部	第60回九州学生弓道選手権大会	福岡市総合体育館(福岡県福岡市)	弓道　男子団体戦　近的	団体戦準優勝(学年は当時のものです) 法文学部　波多野晴太(2年) 工学部　森本和樹(4年)、下田龍満(4年)、 山野弘孝(2年)、宮原栄翼(1年)、内山優士(1年) 農学部　海藏陽向(2年)、馬場晴夢(1年) 水産学部　高橋怜央(2年) 理学部　安木千央(3年)、日高颯斗(2年) 教育学部　高尾真叶(1年)	11月末に行われる全国学生弓道王座決定戦(団体戦優勝校のみ)、次年度の6月に行われる全国大学弓道選抜大会(リーグ戦の的中率上位3校)の出場がかかる、九州の大学弓道の最も重要な大会です。 惜しくも準優勝となり王座決定戦は逃しましたが、選抜大会への出場権は獲得しました
				個人戦　近的	個人戦準優勝　(学年は当時のものです) 法文学部　波多野晴太(2年) 東西対抗戦出場権獲得 工学部　森本和樹(4年) 水産学部　高橋怜央(2年)	
R4.6月	弓道部	第34回全国大学弓道選抜大会	全日本弓道連盟中央道場(東京都渋谷区明治神宮内)	弓道　団体戦　近的	団体戦ベスト8(学年は当時のものです。) 法文学部　波多野晴太(2年) 工学部　森本和樹(4年)、山野弘孝(2年)、内山優士(1年)、宮原栄翼(1年) 理学部　安木千央(3年)、日高颯斗(2年) 水産学部　高橋怜央(2年)	前年度の秋のリーグ戦における的中率の高かった大学のみが参加できる全国大会です。九州からは出場できるのは3校のみです。 鹿児島大学は男子の部において九州で唯一決勝トーナメントに進出し、ベスト8まで進みました。

大会月	団体名	大会名（ニュース等）	開催場所	種目名	成績・表彰	大会の概略やPR
R3.10月	弓道部	第59回九州学生弓道選手権大会	福岡市総合体育館(福岡県福岡市)	弓道　男子団体戦　近的	団体戦準優勝(学年は当時のものです) 法文学部　波多野晴太(1年) 工学部　市川智輝(4年)、後藤成俊(4年) 森本和樹(3年)、下田龍満(3年)、山野弘孝(1年) 理学部　木上正崇(4年)、伊藤央祥(4年) 安木千央(2年)、日高颯斗(1年) 水産学部　高橋怜央(1年) 教育学部　廣太樹(2年)	11月に行われる全国学生弓道王座決定戦、次年度の6月に行われる全国大学弓道選抜大会の出場権がかかる九州の大学弓道の最も重要な大会です。 惜しくも準優勝となりましたが、選抜大会への出場権は獲得しました。
				弓道　個人戦　近的	(学年は当時のものです) 個人戦優勝 工学部　森本和樹(3年) 東西学生弓道選抜対抗試合　出場権獲得 工学部　森本和樹(3年) 理学部　伊藤央祥(4年)	